

3) それだけじゃいけない

このような評価システムから
こぼれ落ちる多くの課題がある

コンパクト性が高いとそれでいいのか？
1996住区の中で最も交通環境負荷の低い住区



Density by Design

NEW DIRECTIONS IN
RESIDENTIAL DEVELOPMENT

Steven Fader
Foreword by Vincent Scully

Urban Land
Institute

質を高めるとい
う視点が不可欠

質を伴った高密化政策(米国)

長期的に我々は生活(行動)をどうかえたか？

(PT調査や道路交通センサスではうまくわからない)

岡山県民の生活行動圏

- 第1回調査結果報告書(1979年) —
- 第9回調査結果報告書(2000年) —

有効サンプル数

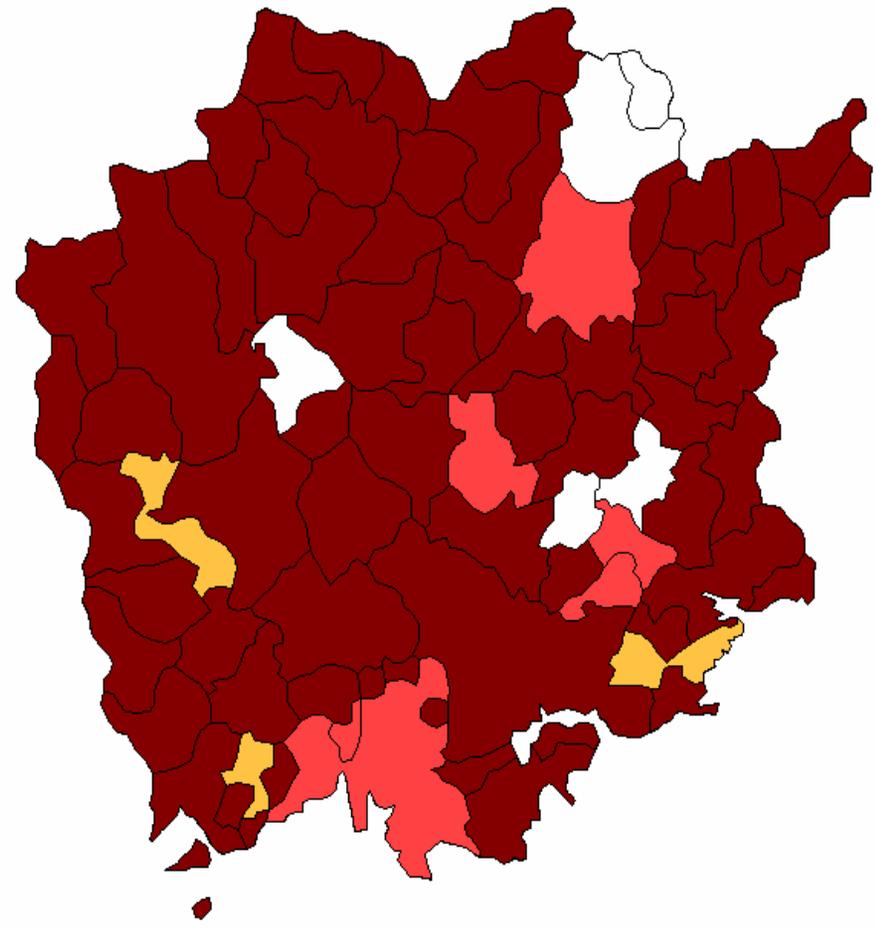
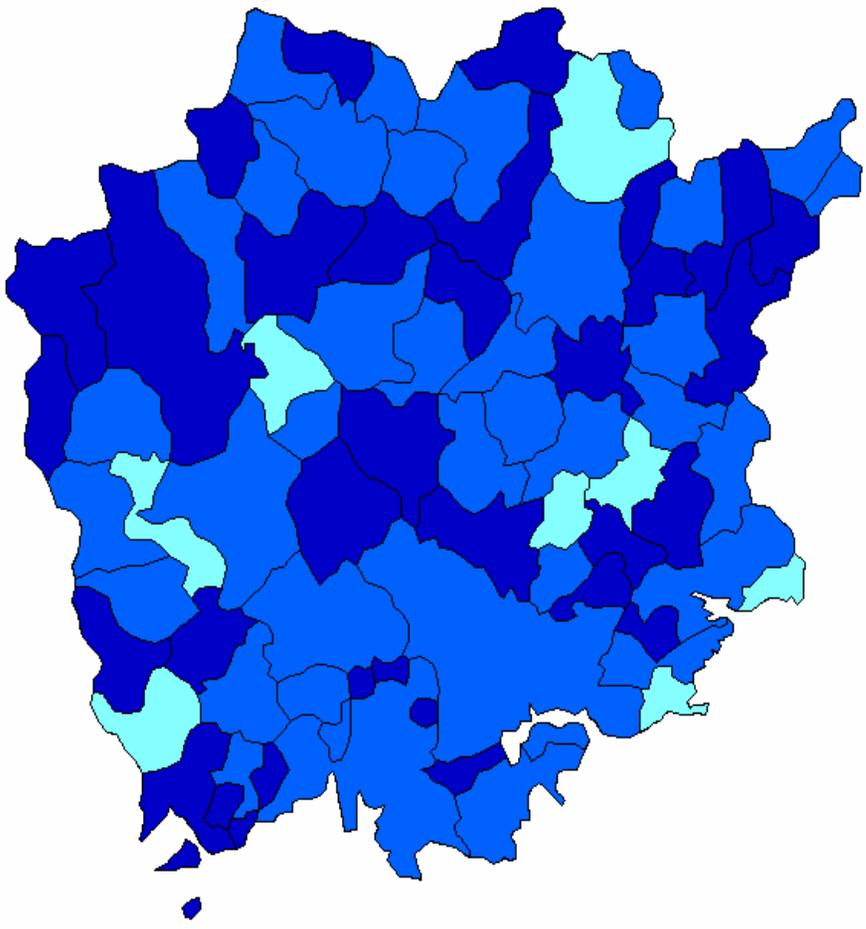
6997

有効サンプル数

6432

<調査内容>

- ・岡山県下78市町村全てを対象
- ・フェイスシート(性別・年齢・職業・現住所)
- ・生活行動(15項目)についての目的地場所・利用交通手段・選択理由・片道移動時間など



	10～29%増加
	30～49%増加
	50%以上増加

乗用車

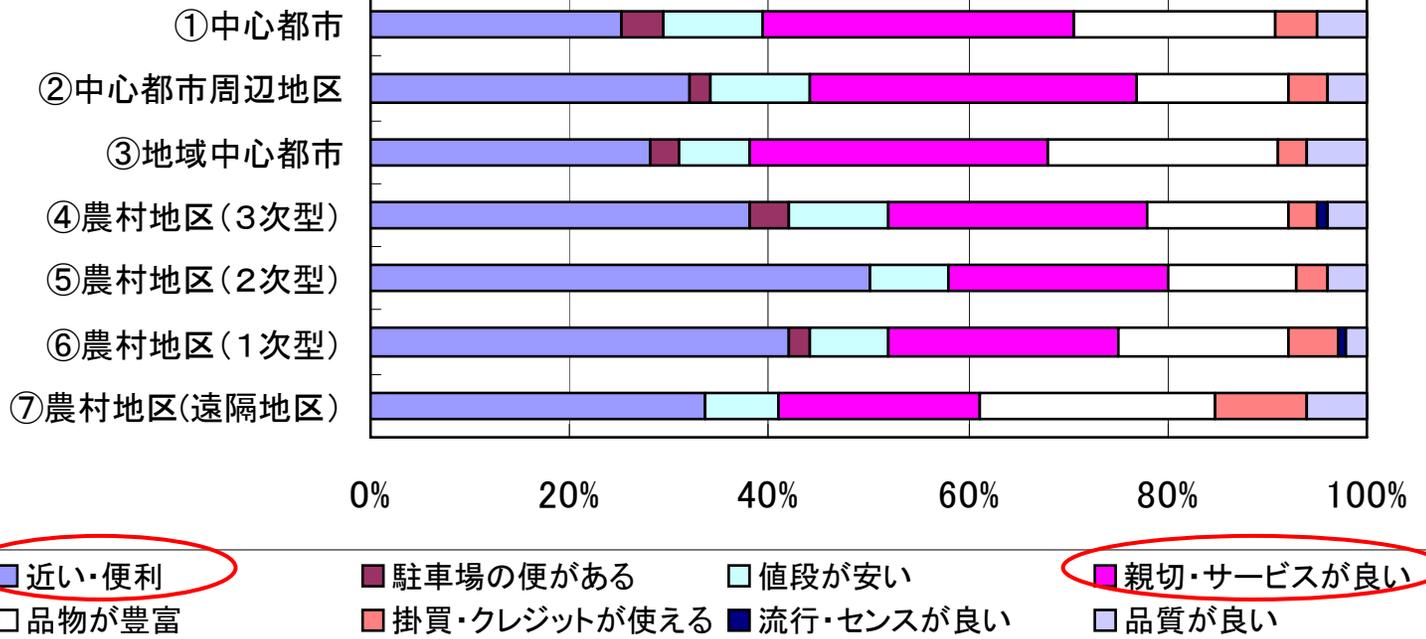
	5～9%減少
	10～14%減少
	15%以上減少

徒歩

「生鮮食品」購入トリップにおける各市町村居住者の利用交通手段変化(79-00)

図 家庭電気製品購入における
目的地選択理由
居住地ベース

1979



2000

